

2017年5月1日

日本気象学会2017年度秋季大会 趣意書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、公益社団法人日本気象学会の活動にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本気象学会では、来る2017年10月30日(月)から11月2日(木)までの4日間、北海道大学(札幌市)において2017年度秋季大会を開催いたします。

当学会は1882(明治15)年に設立され、130年にわたる歴史を持っております。気象学をはじめ、大気・環境科学や気候学に関する多くの分野の科学者、技術者、大学院生等の参加により、わが国における上記諸分野の研究の中核としてその発展に大きく貢献し、かつ気象災害の防止や関連産業の発展に寄与して参りました。近年は、地域的短期予報や季節予報の充実、気象情報の社会への還元等、より身近な社会問題へも貢献する一方、地球温暖化問題や環境問題等、より広い地球規模の問題へと研究対象を発展させています。現在では約3,500名の会員を擁し、毎年春秋2回の全国大会の開催、研究会・講演会の開催、機関誌・学術専門誌の発行、その他の図書の刊行、研究の奨励と顕彰等の事業を広く行っております。

本大会においては全国から約千名の会員が一堂に会し、4日間にわたり研究発表会、シンポジウム、展示会等の行事を実施する予定です。つきましては、貴社の気象学・大気科学・環境科学への関与を広く会員に提示する機会として、会場における企業展示をご活用頂ければ幸甚に存じます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

日本気象学会2017年度秋季大会
大会実行委員長 長谷部 文雄(北海道大学)